

那須の歴史
再発見!

那須町と 近現代の人々

vol.26



秋山真造 (1884-1979)

2月号は、教育者として国内・満州で活躍した秋山真造を紹介しします。

真造は、明治17年に芦野宿で、秋山兵次・ヒサの子として生まれました。明治30年、芦野尋常高等小学校を卒業後、同校での代用教員を経て、栃木師範学校・東京高等師範学校で学び教員の道へ進みました。学生時代はテニスに没頭し、同校のエースとして活躍し、名を轟かせました。卒業後は明治43年から山梨師範学校(現山梨大学文学部)教諭、大正2年から東京府女子師範学校兼東京府立第二高等女学校(現東京学芸大学・都立竹早高校)教諭に就任し、教員養成・女子教育にあたりました。このときの教え子に政治家・山高しげり、声楽家・関鑑子(関子)がいます。大正5年からは京都帝国大学で教育学を小西重直(後に第9代京都帝国大学総長)に学

び、小西の斡旋で大正8年から南満州鉄道株式会社(満鉄)に入社しました。

真造は入社後、教育研究所・地方部学務課に勤務し、満鉄附属地(満鉄は所有地で行政権も行使していた)における学校施設の経営や同地での教員採用、植民地における教育政策の研究と実施を担当しました。このとき真造は、満州の学校教育に映画を初めて取り入れたといわれています。昭和12年からは在満州国大使館に移り、在満州校組合連合会主事として満州国内の中等教育の学校施設経営等にたたるなど、満州国における教育行政の中枢を担いました。

昭和21年の引揚後は大田原町に移り、翌年以降同町の農地委員会書記、栃木県民生委員、同胞援護会理事などを歴任しました。昭和26年からは、十文字学園(東京都)の秋葉馬治に乞われ、同校教諭として67歳から教壇に現場復帰しました。十文字学園では、中学校・高校の社会科等の先生として昭和40年に81歳になるまで奉職し、テニス部顧問などを務めるなど老齢ながらも生徒たちと向き合いました。

真造は現在、菩提寺である大田原市の光真寺に眠り、那須地区の教育を見守っています。
▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007



秋山家の菩提寺・光真寺

かつこう

よく晴れた朝、太陽の光を浴びたくなり窓を開ける。とたんに乾燥した冷たい空気が頬をサツとなで、慌てて窓を閉めた。大寒を過ぎ暦の上では春とはいえ、寒さはまだまだ続いている。昨夜降った雪で小さな雪だるまを作りながら「最後にかまくらを作ったのはいつだったか」と思い出していた。記憶にあるのは、小学生の頃、自

宅の庭に降った雪を集め、兄弟たちと夢中になって作ったことだ。確か子どもなら2人は入れる程の大きさだったと思う。溶けて元の形がなくなるまで思う存分遊んだ。▼1月から2月にかけて、町内の小中学校ではスキー教室が行われる。自然に親しみ、スキーの基礎を学び、集団生活のマナーを身に付けるなどの目的がある。この教室がスキーを体験する唯一のチャンスという子どもも少なくない。我が子もその内のひとり、この

貴重な体験を毎回楽しみにしていた▼スキーやスノーボードの冬のレジャーに欠かせないスキー場だが、雪不足の影響などで廃業が増えていく。那須町も例外ではなく、町内唯一のスキー場「マウントジーンズ那須」は今シーズンの営業終了をもって閉鎖される。雪と触れ合い、自然を感じるなど、子どもたちにはより多くのことを体験してほしいと思っている。そこで得た知識や技術が、自身の糧になることを願っている。

こんにちは

赤ちゃん



令和5年12月生まれ

わたべ りお
渡部 理央くん

りおくんは...
たくさん飲んでたくさん寝ます!

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは企画政策課広報広聴係(☎72-6935)まで。

町の世帯と人口 (1月1日現在・住民基本台帳) ()の数字は前月比

| | | | |
|------|----------------|-----|-----------|
| ・世帯数 | 10,720 世帯 (+7) | 出生 | 8人 (+ 2) |
| ・人口 | 24,011人 (-9) | 死亡 | 33人 (+ 2) |
| | 男 11,967人 (-2) | 転入 | 80人 (+ 6) |
| | 女 12,044人 (-7) | 転出 | 61人 (- 9) |
| | | その他 | 3人減 |

広報那須がスマートフォンなどで読むことができます



マチイロ

